

## 第10章 青少年の国際交流

## 第10章 青少年の国際交流

## 第1節 海外派遣状況

## 1 青森県・ロシアハバロフスク地方青年交流事業

## (1) 経過

平成4年8月に締結された「青森県とハバロフスク地方との友好的なパートナーシップに関する協定」及び同付帯書に基づき、本県とロシアハバロフスク地方との交流を行い、両地域の青年の友好親善と相互理解を深めることを目的として平成5年度から実施している。

## (2) これまでの実施状況

平成5年度にハバロフスク地方の青年を本県に招へい、平成6年度には本県青年をハバロフスク地方へ派遣、以降派遣と招へいを交互に実施している。

平成18年度は、8月6日から8月13日までの8日間にわたり、17名の青年を派遣し、各産業・教育施設等を視察するとともに、ハバロフスク地方の青年と交流した。

また、平成19年度は、平成18年度の派遣青年を中心に実行委員会を立ち上げ、招へい時の訪問先、プログラム等について協議し実施した。

第10-1-1表 青森県・ロシアハバロフスク地方青年交流事業実施状況

年度	ハバロフスク地方青年の本県への招へい人数(人)	招へい月日	本県青年のハバロフスク地方への派遣人数(人)	派遣月日
H5	25	10/18 ~ 10/25		
H6			27	9/4 ~ 9/11
H7	30	10/2 ~ 10/9		
H8			29	9/1 ~ 9/8
H9	29	9/24 ~ 10/1		
H10			30	8/30 ~ 9/6
H11	30	9/19 ~ 9/26		
H12			28	9/3 ~ 9/10
H13	30	8/29 ~ 9/5		
H14			28	8/11 ~ 8/18
H15	30	9/7 ~ 9/14		
H16			18	8/29 ~ 9/5
H17	20	8/24 ~ 8/31		
H18			17	8/6 ~ 8/13
H19	17	7/18 ~ 7/25		

資料：青少年・男女共同参画課

第10-1-2表 平成18年度派遣日程表

月日	時間	日程	宿泊地
H18 8/6(日)	15:30 19:40	青森空港出発 ハバロフスク空港到着	ハバロフスク市 インツーリストホテル
1日目	20:30	ホテルチェックイン	
8/7(月)	10:30 13:30 20:00	日本総領事館表敬訪問 児童キャンプ村「ソズヴェジティエ」で交流 歓迎パーティー	
8/8(火)	10:00 12:30 15:00 16:00 20:30	バルチカビール工場見学 スイソエフ動物園見学 市内視察(アムール橋) ハバロフスク歴史博物館見学 アムール川遊覧	ハバロフスク市 インツーリストホテル

8/ 9(水) 4 日目	11 : 00 13 : 00 14 : 10	シカチ・アリヤン村文化資料館見学 ナナイ族によるコンサート見学 象形文字見学	コムソモリスク・ナ・ アムーレ市 ヴァスホットホテル
8/10(木) 5 日目	10 : 00 11 : 00 11 : 30 13 : 50 15 : 30 16 : 30 18 : 40	コムソモリスク・ナ・アムーレ市役所表敬訪問 日本人記念碑訪問 ギャラリーにて美術展鑑賞 コムソモリスク・ナ・アムーレ市副市長と会食 飛行機展示場「ナボ」見学 クラブハウスの青少年との交流 「青年の家」にて夕食、交流	コムソモリスク・ナ・ アムーレ市 ヴァスホットホテル
8/11(金) 6 日目	10 : 30 11 : 30 12 : 30 20 : 00	ソルネチヌイ村役場表敬訪問 青少年施設「ひまわり」訪問 休養の家「ホルドミ」視察 プラティスム・アリーナでアイススケート	ハバロフスク市 インツーリストホテル
8/12(土) 7 日目	10 : 00 17 : 00 18 : 00 19 : 00 21 : 00	休息キャンプ「ザイムカ」視察 ハバロフスク地方行政青年政策委員会表敬訪問 NKCity 訪問 班別行動 さよならパーティー	ハバロフスク市 インツーリストホテル
8/13(日) 8 日目	11 : 30 14 : 00 14 : 10	日本人墓地参拝 ハバロフスク空港出発 青森空港到着	

資料：青少年・男女共同参画課

第 10-1-3 表 平成 19 年度招へい日程表

月 日	時 間	日 程	宿 泊 先
H19 7/18(水) 1 日目	16 : 00 17 : 30 18 : 30	青森空港到着 ホテルチェックイン 歓迎レセプション	青森市泊 アップルパレス青森
7/19(木) 2 日目	9 : 00 10 : 30 13 : 45 15 : 45	知事表敬訪問 善知鳥神社見学（雅楽鑑賞とお茶体験） 三内丸山遺跡見学 県立美術館見学	青森市泊 アップルパレス青森
7/20(金) 3 日目	9 : 30 11 : 15 14 : 00 18 : 45	弘前城見学 津軽藩ねぶた村視察（ねぶた太鼓体験） 弘前大学視察、弘前大学交流会 商業施設視察（弘前市早稲田）	青森市泊 アップルパレス青森
7/21(土) 4 日目	10 : 30 12 : 00 15 : 00	八甲田憩いの牧場において自由時間 ホストファミリーによる歓迎昼食会 各ホームステイ先へ	ホームステイ
7/22(日) 5 日目	14 : 00 16 : 00 18 : 00	ホームステイ引継ぎ 実行委員とのスポーツ交流（ボウリング大会） 実行委員との交流会	青森市泊 アップルパレス青森
7/23(月) 6 日目	10 : 15 11 : 15 12 : 00 13 : 45 15 : 30 16 : 30 19 : 40	おいらせ町いちょう公園見学 JR 八戸駅において新幹線見学 八食センター視察 三菱製紙八戸工場視察 自然観察（蕪島） 八戸市交流会（エスタシオンにおいて青年との交流） 八戸市中心商店街視察	八戸市泊 ホテルヒューストン
7/24(火) 7 日目	9 : 30 11 : 45 14 : 15 18 : 00	八戸市長表敬訪問 奥入瀬溪流散策 十和田湖遊覧 友好親善国際交流の夕べ・さよならパーティー	青森市泊 アップルパレス青森
7/25(水) 8 日目	9 : 40 11 : 30 17 : 30	浅虫水族館見学 青龍寺見学 青森空港出発	

資料：青少年・男女共同参画課

## 2 内閣府青年国際交流事業

内閣府青年国際交流事業は、日本と諸外国の青年相互の友好と理解を促進し、併せて日本の青年の国際的視野を広げ、国際化の進展する社会の各分野で指導性を発揮できる青年を育成するとともに、青少年健全育成活動に参加青年が寄与することを目的として、内閣府が毎年度実施しているもので、以下に述べる6つの事業からなっている。

なお、(1)国際青年育成交流事業 (2)日本・中国青年親善交流事業及び日本・韓国青年親善交流事業 (3)「世界青年の船」事業 (4)「東南アジア青年の船」事業への参加青年については、各都道府県で参加申し込みを受け付け、各都道府県の間選考を経て内閣府に推薦のあった候補者の中から内閣府の最終選考で決定される。

### (1) 国際青年育成交流事業

平成5年の皇太子殿下の御成婚を記念して、平成6年度から新たに開始している事業であり、外国青年招へい事業と日本青年の海外派遣事業から構成されている。ボランティア活動、福祉活動、伝統文化等の共同体験交流を中心とした拠点滞在型の密度の濃い国際交流活動を実施している。

### (2) 日本・中国青年親善交流事業及び日本・韓国青年親善交流事業

日本・中国青年親善交流事業は、日中平和友好条約の締結を記念して昭和54年度に日本及び中国両国政府の共同事業として開始された。

また、日本・韓国青年親善交流事業は、日韓両国首脳会議における共同声明及び日韓国交正常化20周年に鑑み、昭和62年度に日本及び韓国両国政府の共同事業として開始された。

### (3) 「世界青年の船」事業

明治百年記念事業の一つとして昭和42年度から実施してきた青年の船事業を発展的に改組し、昭和63年度に開始された。日本と世界各国の青年が世界青年の船に乗船し、生活を共にする中で、世界的視野に立った共通の課題の研究・討論、各種の講義、スポーツなどの交流活動を行うとともに、訪問国では現地青年との交流活動を行っている。

### (4) 「東南アジア青年の船」事業

昭和49年1月のインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール及びタイの各国と日本との間の共同声明に基づき、昭和49年に開始された。昭和60年度からはブルネイ、平成8年度からはベトナムを、平成10年度からはラオス及びミャンマーをそれぞれ加え、さらに平成12年度からは、平成11年4月にアセアンに加盟したカンボジアを新たに加え、これら東南アジア各国の積極的な参加と協力の下に実施している。

日本と東南アジア諸国の青年が、船において生活を共にする中で各国事情の紹介、討論を行うとともに、各国を順に訪問し、各国青年との交流やホームステイなどを行っている。

### (5) 21世紀ルネッサンス青年リーダー招へい

21世紀のスタートにふさわしい新たな交流事業として平成13年度から開始された。世界各国の社会の各分野で既に活躍している青年リーダーを日本に招へいし、日本の青年リーダーと討議・交流を実施することとしている。

### (6) 青年社会活動コアリーダー育成プログラム

社会活動の中核を担う青年リーダーの育成を目標に平成14年度から開始された。社会活動に携わっている日本青年と外国青年が討議・交流を実施する。

第10-1-4表 青森県からの内閣府青年国際交流事業派遣状況

(単位:人)

事業名	年度	H14までの累計	H15	H16	H17	H18	H19	合計
青年海外派遣 { 国際青年育成交流 青年中国派遣 青年韓国派遣		61	—	1	1	1	1	65
世界青年の船		12	3	—	1	—	1	17
東南アジア青年の船		5	—	—	—	—	—	5
計		78	3	1	2	1	2	87

資料:青少年・男女共同参画課

### 3 青年農業者の海外研修

#### (1) 農業実習生海外派遣事業

青年農業者をアメリカやヨーロッパの先進農業国に1～2年派遣し、農業実習、農業者との交流、大学等での講習、視察研修をとおして農業技術や経営管理能力の向上、国際的視野の拡大を図る。

第10-1-5表 青森県からの青年農業者海外研修(長期研修)派遣状況

(単位:人)

区分	年度	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
米国2年制		—	—	2	2	1	1	1
米国1年制		—	—	—	1	—	—	—
ドイツ		1	1	—	—	—	—	—
スイス(男子)		—	—	1	1	—	—	—
スイス(女子)		—	—	1	—	—	—	—
オランダ		1	1	—	—	—	—	—
計		2	2	4	4	1	1	1

(注)平成17年度以降、派遣実績なし。

資料:構造政策課

## 第2節 外国青年受入状況

### 1 外国青年招致事業

県内における外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流の発展を図るため、総務省、文部科学省、外務省及び財団法人自治体国際化協会の協力の下に「語学指導等を行う外国青年招致事業」を実施しているもので、平成19年度は、

- (1) 日本人教師の外国語授業の助手として職務に従事する「外国語指導助手（ALT）」102名を招致し、主に教育委員会または学校に配置した。
- (2) 外国からの訪問客の接遇、外国語刊行物の翻訳・監修、イベント等の通訳などの職務に従事する「国際交流員（CIR）」19名をアメリカ、イギリス、オーストラリア、ドイツ、韓国、中国、ロシア及びイタリアの各国から招致し、県及び市町村に配置した。

なお、昭和62年度からの招致人員は延べ1,657人である。（第10-2-2表）

第10-2-1表 平成19年度の語学指導等を行う外国青年招致人員内訳

〈国別、男女別〉 (単位:人)

区 分	男	女	計
イ タ リ ア	1	0	1
英 国	5	4	9
カ ナ ダ	11	5	16
オーストラリア	1	5	6
ニュージーランド		2	2
アメリカ合衆国	44	30	74
南アフリカ		3	3
シンガポール		2	2
ロ シ ア	1	1	2
ド イ ツ	1		1
中 国	1	1	2
韓 国		3	3
計	65	56	121

資料:国際課

〈職業別、男女別〉 (単位:人)

区 分	男	女	計
国際交流員（CIR）	8	11	19
外国語指導助手（ALT）	57	45	102
計	65	56	121

資料:国際課

第10-2-2表 語学指導等を行う外国青年招致事業外国青年招致数 (H19. 4. 1現在)

(単位:人)

団体	年度 区分	H19				H18				S62~H17				
		CIR	専任 PA	ALT	計	CIR	専任 PA	ALT	計	CIR	専任 PA	ALT	SEA	計
青森県		5			5	5			5	65				65
教育庁				35	35		1	34	35		1	500	5	506
小計		5		35	40	5	1	34	40	65	1	500	5	571
青森市		3		4	7	3		4	7	26		57		83
弘前市				4	4			3	3			45		45
八戸市		1		9	10	1		9	10	9		55		64
黒石市				2	2			2	2			18		18
五所川原市				3	3			3	3			34		34
十和田市				3	3			3	3	2		22		24
三沢市				2	2			2	2			6		6
むつ市		1		4	5	1		4	5	9		42		51
つがる市		2		3	5	1		3	4	18		48		66
平川市				2	2			2	2			28		28
平内町				1	1			1	1			19		19
今別町				1	1			1	1			10		10
蓬田村				1	1			1	1			4		4
外ヶ浜町				1	1			1	1			13		13
鱒ヶ沢町		2		1	3	2		1	3	9		10		19
深浦町				1	1			1	1	5		15		20
西目屋村														
藤崎町				1	1			1	1			14		14
大鰐町				1	1			1	1			13		13
田舎館村						1			1	5				5
板柳町		1		1	2	1		1	2	9		16		25
鶴田町		1		1	2	1		1	2	14		18		32
中泊町				2	2			2	2			29		29
野辺地町												7		7
七戸町				2	2			2	2	9		14		23
六戸町		1			1	1			1	4				4
横浜町														
東北町				1	1			1	1					
おいらせ町														
六ヶ所村		2		1	3	2		1	3	6		10		16
大間町				1	1			1	1			12		12
東通村								1	1			4		4
風間浦村				1	1			1	1			4		4
佐井村				1	1							6		6
三戸町				1	1			1	1			18		18
五戸町				2	2			2	2			26		26
田子町				1	1			1	1			18		18
南部町				3	3			3	3			27		27
階上町				1	1			1	1			11		11
新郷村														
中部上北広域事業組合				1	1			1	1			17		17
東部上北教育研究協議会				3	3			3	3			30		30
市町村計		14		67	81	14		66	80	125		720		845
県計		19		102	121	19	1	100	120	190	1	1,220	5	1,416

資料:国際課

## 2 海外技術研修員の受入れ

開発途上国の優秀な青年を受入れ、その国の発展に必要な技術を習得させ、これを活かして研修員が自国の経済発展に貢献するとともに、県民との交流を通じて、日本の社会、経済、文化、習慣等についての理解を深め、日本との友好関係の増進に寄与することを目的としている。

本県においては昭和49年度から本事業を実施し、平成19年度までに合計241人の研修員を受入れている。国別の受入人数ではブラジルが167人と最も多い。平成3年度からは中国、韓国、モロッコ、フィリピン等南米以外の国からの研修員も受入れている。

第10-2-3表 海外技術研修員国別推薦機関別集計表

(単位:人)

推薦機関	年 度	S49～63	H1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
南米 県人 会	サンパウロ	69	3	4	2	5	3	4	4	3	4	3		2				1				107
	リオデ ジャネイロ	2			1																	3
	クビチェック	0																				0
	マナウス	2	1					1	1			1								1		7
	トメアス	10		1	2	1		1		1			1								1	18
	ベレン	6	1	1	1	1																10
	アルゼンチン	8	1					2					2	1	2				1			17
	パラグアイ	2		1									1	1		2	2	1		1	1	12
SC州政府		5	1		1		1	1	2	2	2	2	2	1					1		1	22
韓国	大田市						1	1														2
	江原道								1	1												2
	京畿道									1	2	2										5
黒龍江省	人民政府						2	1	1	2	1	1	1	1	2	2	2	1				17
吉林省	人民政府														1	1	1			1		4
遼寧省	人民政府														1	1	1		1			4
JICA	黒龍江省					1						1										2
	吉林省				1																	1
	湖南省												1									1
	マレーシア						1															1
	モロッコ							1		1												2
	フィリピン								1					1								2
	トンガ										1											1
	モンゴル															1						1
合 計		104	7	7	8	8	10	10	10	11	10	10	8	7	7	6	6	3	3	3	3	241

資料:国際課

## 第3節 その他

### 1 青年海外協力隊

青年海外協力隊は、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施している開発途上国に対する技術協力の一環で、相手国の経済・社会の発展のために、技術技能を身につけた日本の青年を派遣して、各国の国づくりに協力する青年のボランティア活動を中心とした事業である。昭和40年の発足以来、既に82か国へ約30,770名の青年を隊員として派遣してきた。現在も、約2,800名の隊員が世界78か国で活躍中である。

本県からは、青年海外協力隊派遣人員は、平成18年度までに296人となっている。（第10-3-1表）

ア 対象国：アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中近東、東欧の約82か国。

イ 職種：農林水産、加工、計画行政、保守操作、土木建築、保健衛生、教育文化、スポーツの8部門、約120職種

ウ 派遣期間：原則として2年間（平成10年度秋募集から1年派遣制度が発足）

エ 赴任形態：単身赴任

オ 応募資格：満20歳から満39歳までの日本国籍を有する者

カ 待遇：現地生活費、往復渡航費等は国際協力機構の負担

### 2 日系社会青年ボランティア

外国における日本文化への理解、経済交流などで大きな役割を果たしている日系人社会の一層の発展を図るため、昭和60年度からJICA（国際協力事業団（現：国際協力機構））が実施している。

本県からは、平成19年11月までに3名の女性が参加している。

### 3 三沢基地内大学県民就学推進事業

青森県の発展に貢献する国際性に富む有為な人材を育成するため、県内に居ながら三沢米軍基地内にあるアメリカの大学等（セントラル・テキサス短期大学、メリーランド大学、フェニックス大学大学院、トロイ大学大学院）への就学を希望する県民を対象にした三沢基地内大学県民就学推進事業を平成2年から実施している。

平成18年度の就学者数は、春夏の年2回と募集回数が増えたことから18名となり、これまでの就学者数の累計は平成19年12月末現在で371名となっている。

なお、募集・選考等の事務は（財）青森県国際交流協会で行っている。

## 第4節 市町村の青少年国際交流状況

青少年の国際交流事業は、各市町村においても積極的に取り組む姿勢があり、継続的あるいは記念事業として海外派遣事業を実施したり、また、相互交流の必要性から海外の青少年の受入事業も積極的に推進している。

平成18年度の実施状況は第10-4-1表のとおりである。

第10-3-1表 本県出身青年海外協力隊（一般隊員）年度別派遣数（平成19年3月31日現在）

（単位：人）

	派遣国	年度																合計
		～H5年度	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18			
アジア地域	インドネシア	2	1		1					1			1			6		
	キルギス													1		1		
	カンボジア	1							1						1	3		
	スリランカ	2		1	1											4		
	タイ	3			1											4		
	中国	2		1				1			1		1			6		
	ネパール	6			1		1		1			1				10		
	パキスタン								1		1				1	3		
	バングラデシュ	7					1	1					1	1		11		
	ブータン											1				1		
	フィリピン	19														19		
	ベトナム								1				1			2		
	マレーシア	15				1										16		
	モルディブ	2														2		
ラオス	3														3			
小計	62	1	2	5		2	3	3	1	3	2	3	3	1	91			
中近東地域	イエメン													1	1	2		
	シリア	4														4		
	チュニジア	1						1								2		
	モロッコ	9														9		
	小計	14						1						1	1	17		
アフリカ地域	エチオピア	1		1						1						3		
	ガーナ	8													1	9		
	ケニア	15						2	1							18		
	コートジボアール		1													1		
	ザンビア	4					1									5		
	ジンバブエ				2										1	3		
	セネガル	5					1		1		1	1	1	1		11		
	タンザニア	12										1	1			14		
	ニジェール	1						2				1				4		
	ブルキナファソ									1	1			2	2	6		
	ボツワナ			1	1											2		
	マダガスカル										1					1		
	マラウイ	10		1	1									1	1	14		
	南アフリカ										1					1		
	モザンビーク													1		1		
ルワンダ														1	1			
リベリア	1														1			
小計	57	1	3	4		2	4	3	1	4	3	2	5	6	95			
中南米地域	エクアドル						1									1		
	エルサルバドル	1			1											2		
	グアテマラ	2				1		1	1	1				1	1	8		
	コロンビア																	
	コスタリカ	3			1										1	5		
	ジャマイカ	1					1			1						3		
	チリ							1				1	1			3		
	ドミニカ	2								1					1	4		
	パナマ			1		1			1		1			1		5		
	パラグアイ	5	1				1				1			1		9		
	ペルー	3														3		
	ボリビア	6										1	1			8		
	ホンジュラス	5														5		
	メキシコ						1									1		
小計	28	1	1	2	2	4	2	2	3	2	2	2	3	3	57			
オセアニア地域	サモア	5		1	1	1										8		
	ソロモン諸島	4	2													6		
	トンガ	4														4		
	バヌアツ	1				1				1			1		4			
	パプアニューギニア	5											1		6			
	パラオ						1								1			
	フィジー	1					1								2			
	ミクロネシア	1											1		2			
小計	21	2	1	1	2	2			1			3		33				
欧州	ウズベギスタン								1							1		
	ハンガリー											1				1		
	ルーマニア											1				1		
	小計								1		2					3		
合計	182	5	7	12	4	10	11	8	6	11	7	10	12	11	296			

資料：国際課

第10-4-1表 平成18年度各市町村における青少年国際交流の実施状況

市町村名	事業名	実施時期 (期間)	対象国 (対象地域)	事業概要	人員
青森市	生涯学習支援事業(こどもチャレンジクラブ)	H18.5～12	チリ、韓国、ケニア、マレーシア、ベトナム、ロシア、アメリカ、イギリス	様々な国のひとたちとふれあい、外国の文化を体験する「ワールドクラブ」を開催。	小3～中3 25名
青森市	民間交流推進事業	H17.4～H18.3	ハンガリー共和国(ケチケメート市) 中国(大連市) 大韓民国(平澤市)	版画等の作品交流を通じ、生徒の国際交流に対する意識の促進と、国際理解教育の充実を図ることを目的に実施。	
青森市	ジョーモン・ジュニア体験活動事業	①H18.6.24 ②H18.7.9 ③H18.7.23 ④H18.7.28		子どもたちが、外国の文化及び言語(英語)に触れることができる機会として、ネイティブスピーカー等との体験活動を通じ、英語によるコミュニケーションの能力を培うとともに、国際化に対応できる人材の育成を図ることを目的に実施。	10名
青森市	ミニインターナショナルフレンドシップフェア	H18.11.26	アメリカ合衆国等	近隣市町村のALT、弘前大学の留学生などの交流活動を一同に紹介し、異文化理解の場を提供。	
青森市	平成18年度米国メーン州中学生海外体験受入事業	H18.7.29～8.6	アメリカ合衆国	様々な分野の交流活動や体験活動を通して、米国の中学生が日本の文化に対する理解を深め、また、受け入れる側の生徒も米国との中学生との交流を通じ、国際理解を進め、郷土の文化や歴史を見つめ直し、21世紀の国際社会を担う広い視野と調和のとれた有為な人材を育成することを目的に、米国メーン州の中学生のホームステイを受け入れ。	20人 (うち引率4人)
青森市	平成18年度青森市立浪岡中学校及び青森市中学校生徒米メーン州派遣事業	H19.1.4～13	アメリカ合衆国	語学能力の向上を図るとともに、現地の文化、歴史、産業等の視察を通して親善交流を行い、21世紀の国際社会を担う広い視野と調和のとれた人材を育成することを目的に、青森市内中学生を米国メーン州に派遣し、訪問国の中学校との交流学習やホームステイを実施。	24人 (うち引率4人)
青森市	友好交流都市留学生受け入れ	H18.4～H19.3	大韓民国(平澤市)	相互理解と友好関係の増進に寄与することを目的に、友好交流都市からの留学生を支援。	5名
青森市	2006 ジュニア・グローバル・トレーニング・スクール in AOMORI	H18.8.4～6(2泊3日)	アメリカ合衆国(米軍三沢基地)、韓国	21世紀の国際社会を担う広い視野と調和のとれた人材の育成を目的に、青森地域と海外の小中学生(高学年)による合同形式(2泊3日)の交流を実施。	米国16名・韓国20名・ロシア1名(日本63名・通訳ボランティア等38名合計138名)
弘前市	国際交流ふれあいパーティー	H19.1.12	—	市民と外国人が、和やかな雰囲気の中で相互に理解を深め、現代社会に必要な国際感覚を養うためにパーティーを開催。	参加者24名
弘前市	国際交流夏まつり事業補助	H18.8.19～20	—	盆踊り大会を中心とした夏まつりの開催により、弘前大学の留学生と地域住民との交流を図ることを目的に実施。	参加240名

市町村名	事業名	実施時期 (期間)	対象国 (対象地域)	事業概要	人員
八戸市	青少年海外派遣及び受入事業(派遣)	中国:H18.5.26～6.2 アメリカ合衆国:H18.6.2～9	中国及びアメリカ合衆国 (対象地域)	国際協力の精神を育てるとともに、青少年の健全育成を図ることを目的に、中学生を海外に派遣。	中国:派遣19 (うち引率者3) 米国:派遣16 (うち引率者3)
八戸市	青少年海外派遣及び受入事業(受入)	H18.11.14～17	中国	国際協力の精神を育てるとともに、青少年の健全育成を図ることを目的に、中国蘭州市より青少年友好交流団を受入れ。	27名 (うち引率者6)
黒石市	チムズ校来黒	H18.9.13～21	オーストラリア	交流を深めるとともに黒石及び日本文化への理解を図ることを目的に、メルボルン市チムズ校の中学生が市内中学生宅にホームステイしながら市内中学校・高校を訪問。	生徒12名 教師2名
五所川原市	例会	7月9日、9月10日、10月22日、 11月12日、1月21日		各国の国際意識・感覚に触れる場を設け、外国人との交流を図ることを目的に、五所川原市中央公民館で各国の国際交流員やALTI1名を講師に迎え交流会を実施。	各回17人
十和田市	こどものまつり	H18.10.1		「こどものまつり」において、屋外で「世界の食文化体験」を実施。	
十和田市	中学生海外派遣事業	H18.10.26～11.3	オーストラリア	ローズヒッドを中心に5泊のホームステイと現地中等学校への通学・語学研修・文化交流、1泊2日の観光による研修を実施。	派遣23名
三沢市	姉妹都市委員会補助金	H18.5.4～13(派遣) H18.8.15～20(受入) H18.10.5～14(派遣)	アメリカ合衆国 ワシントン州 (ウエナッチ、ノバレー)	姉妹都市使節団(中学生大使、交流員)の派遣及び受入れ。	派遣21名 受入27名
三沢市	ミニ・インターナショナルブレンドシップフェア	H18.9.30		近隣市町村や民間団体が実施する国際交流事業を紹介し、地域住民に国際交流・国際理解を深める機会と場を提供。国際交流員による語学講座や各国の料理試食、三沢米軍基地内のアメリカ人によるコンサートを実施。	
三沢市	ホームステイ事業	H18.7.28～30 H18.8.4～76	米軍三沢基地在住 外国人	三沢基地在住の外国人家庭へ小中学生がホームステイを体験し、また米国側小中学生も日本人家庭にホームステイするなど、家族間の相互交流を通して友好関係を深め国際感覚を養う。	受入9名 派遣8名
三沢市	第7回国際子供アイズフェスティバル	H18.3.18		国際都市を標榜する当市の特色を生かし、子供達の冬季間の交流の場として、三沢アイズアリーナを会場に色んなゲームを通してお互いの友好を深めることを目的として実施。	参加者200名
むつ市	ジュニア大使派遣事業	H19.1.6～12	アメリカ合衆国	ホームステイを通して体験学習を目的に、中学生を米国へ派遣。	17人
つがる市	バス市訪問団受入事業	H18.7.25～8.7	アメリカ合衆国メーン州 (バス市)	市民との交流を図ることを目的に、姉妹都市の中学生を受入れ、ホームステイ等を実施。	受入13名 (うち引率5名)
つがる市	バス市訪問団派遣事業	H19.3.26～4.5	アメリカ合衆国メーン州 (バス市)	現地中学生との交流を図ることを目的に、中学生を姉妹都市に派遣し、ホームステイ等を実施。	派遣20名 (うち引率4名)

市町村名	事業名	実施時期 (期間)	対象国 (対象地域)	事業概要	人員
平川市	国際交流(中学生ホームステイ受入)事業	H18.6.22~28	アメリカ合衆国メーン州	日本の文化や生活の積極的な紹介や、英会話を通して英語への興味関心を高めることを目的に、ホストファミリーとしてアメリカからの中学生受入れを実施。	13名 (うち引率3名)
平川市	国際交流(中学生ホームステイ派遣)事業	H19.1.3~13	アメリカ合衆国メーン州	ホームステイ体験や学校体験を通して、異文化やコミュニケーション能力の育成を図ることを目的に、市内の中学生をアメリカへ派遣。	12名 (うち引率2名)
鱈ヶ沢町	幼児国際講座開設事業	通年		早期段階からの国際化に対する関心の増進並びにセンスの育芽を促進することを目的に、町内保育所、幼稚園の園児を対象とした国際講座を開設。在住外国人を講師に向かえ、歌やゲームを通して国際理解の増進、初歩的な英会話指導などを実施。	
鱈ヶ沢町	児童国際講座開設事業	通年		未来を担う若い世代の国際感覚の高揚及びコミュニケーション能力の増進に資することを目的に開設。外国人講師を起用しながら、小学校現場において、異文化理解並びに初歩的な英会話指導を実施。	
板柳町	中学生米国派遣研修事業	H18.7.29~8.7	米国ワシントン州ヤキマ市、ポートランド市他	国際化時代に対応できる人材を育成することを目的に、姉妹都市米国ヤキマ市に中学生を派遣。	派遣16名
板柳町	小学生親善教育文化交流団派遣事業	H18.7.30~8.4	中国北京市昌平区	次代を担う子どもたちの国際感覚を養い、日中の友好を深めることを目的に、昌平区へ小学生の交流団を派遣し、日中子どもサミット等を開催。	派遣25名
鶴田町	姉妹都市からの中学生・高校生大使受入事業	H18.8.12~20	アメリカ合衆国(フッドリバー)	中学生大使及び一般訪問団員を受入れ。	27名
鶴田町	中学生大使派遣事業	H19.3.17~27	アメリカ合衆国(フッドリバー)	中学生大使及び一般訪問団員を派遣。	20名
七戸町	青少年海外派遣事業	H18.7.27~8.5	カナダ	国際性豊かな人材育成を図ることを目的に、町内の中学生をカナダに派遣し、ホームステイ等を実施。	派遣9名 (内引率1名)
六戸町	ミニ・インターナショナルフレンドシップフェア	H18.9.30	上十三地区	近隣市町村や民間団体が行っている国際交流事業を紹介し、地域住民の国際交流・国際理解を深めることを目的とする。世界各国の試食料理、コンサート、ミニ語学講座など多彩なイベントを実施。	実行委員13名
東北町	夏休みカナダ生活派遣事業	H18.7.26~8.5	カナダ(バンクーバー)	国際人としての感覚を養うことを目的に、英会話、交換会、ホームステイを実施。	小学生1名 中学生2名
六ヶ所村	高校生相互ホームステイ交流事業	H18.8.4~7 H18.8.15~20	韓国(襄陽郡)	異文化を通して友情を育むことを目的に、韓国襄陽郡高校生と六ヶ所村高校生が相互にホームステイを実施。	受入13名/派遣13名 (うち引率3名/3名)

市町村名	事業名	実施時期 (期間)	対 象 国 (対象地域)	事業概要	人 員
六ヶ所村	小学生サッカー交流派遣事業	H18.8.15～18	韓国(襄陽郡)	スポーツを通じて交流を深めるため、韓国襄陽郡を村の小学生サッカーチームが訪問し、試合を実施。	派遣25名
六ヶ所村	小学生海外体験学習事業	H18.4～H19.3	オーストラリア	国際的視野を広げるため、村内の小学6年生を対象に選考し、オーストラリア・ケアンズでホームステイを実施。	派遣21名 (うち引率5名)
六ヶ所村	中学生海外体験学習事業	H18.6～H19.3	アメリカ合衆国	国際的視野を広げるため、村内の中学2年生を対象に選考し、アメリカ・アンティオク市でホームステイを実施。	派遣26名 (うち引率4名)
おいらせ町	日米小学生スポーツ交流(サッカー)	H18.7.22	アメリカ合衆国	町内の小学生と三沢基地の小学生のサッカーチームが交流試合を実施。	50人
おいらせ町	日米スポーツ交流(体協サッカー)	H18.9.16	アメリカ合衆国	町体育協会と三沢基地のサッカーチームが交流試合を実施。	40人
おいらせ町	日米スポーツ交流(体協サッカー)	H18.10.23	アメリカ合衆国	町体育協会と三沢基地のサッカーチームが交流試合を実施。	30人
おいらせ町	日米小学生スポーツ交流交流(フットサル)	H18.11.25～12.23	アメリカ合衆国	三沢基地の小学生サッカーチームのトーナメントに町内小学生サッカーチームが参加し交流を図る。(4回)	50人
おいらせ町	鮭稚魚放流会	H19.3.24	アメリカ合衆国	グリーンデー、アースデーの一環で実施される鮭稚魚放流会の中で子供を対象とした食事交流会、ゲーム交流会を実施。	80人
風間浦村	同志社大学留学生交流事業	H19.2.6～9	ドイツ・カナダ オーストラリア	児童生徒とドイツ・カナダ・オーストラリア留学生との交流を通して国際理解と外国語教育の充実を図ることを目的に実施。	男2名・女2名
三戸町	中学生海外研修派遣事業	H18.10.26～11.2	アメリカ合衆国 (ワシントン州シアトル市)	国際理解の醸成を目的に海外へ中学生を派遣し、ホームステイ等を実施。	生徒21名 引率3名
三戸町	三戸高等学校海外研修派遣事業	H18.7.20～28	オーストラリア(ニューサウス ウェールズ州タムワース市)	姉妹校との交流を深めるとともに、タムワース市民との友好を深めることを目的に、三戸高等学校の生徒をタムワース高校へ研修派遣。	派遣9名 (うち引率3名)
五戸町	五戸町中学生姉妹都市韓国沃川郡派遣事業	H18.8.2～6	大韓民国(沃川郡)	姉妹都市との相互理解と人材の育成を図ることを目的に、中学生を姉妹都市へ派遣し学校訪問や交流会を実施。	派遣21名 (うち引率等4名)
五戸町	中学生海外研修事業	H19.1.4～10	シンガポール・マレーシア	国際的視野を広め、英語力の向上、人材育成を図ることを目的に、中学生を海外へ派遣。	派遣24名 (うち引率等4名)
田子町	中学生海外派遣事業	H18.10.25～11.1	アメリカ合衆国 (ゼルロイ市)	異文化体験や交流を深めることを目的に、町内の中学生を姉妹都市へ派遣。	派遣13名 (うち引率3名)
田子町	青少年海外派遣事業	H18.1.4～13	アメリカ合衆国 (ゼルロイ市)	異文化体験や交流を深めることを目的に、田子高校生を姉妹都市へ派遣。	派遣19名 (うち引率4名)

資料:国際課